

2026 年 9 月 18 日

各 位

会 社 名 ソーシャルワイヤー株式会社

代表者名 代表取締役社長 矢田 峰之

(コード番号：3929 東証グロース)

問 合 せ 先 管 理 部 長 笹川 友幸

(TEL. 03-5363-4872)

東京証券取引所スタンダード市場への市場区分の変更に向けた取り組みに関するお知らせ

当社は、東京証券取引所スタンダード市場への市場区分の変更について、株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）に対して市場区分の変更申請をし、その承認に向けた対応を進めていることを、下記のとおりお知らせいたします。

なお、市場区分の変更は東京証券取引所による審査を経て承認されるものであり、現時点において、承認されることおよびその時期が確定しているものではありません。

記

1. スタンダード市場への市場区分の変更を目指す背景

当社は、2015 年 12 月に東京証券取引所マザーズ市場へ上場し、東京証券取引所が実施した市場区分の見直しに伴い、2022 年 4 月にグロース市場へ移行いたしました。

当社グループは、従来、デジタル PR 事業とシェアオフィス事業を主力事業としておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機とした事業環境の構造的な変化を受け、2023 年 9 月に国内シェアオフィス事業の譲渡を実施し、2024 年において海外シェアオフィス事業および翻訳事業の譲渡をはじめとする事業構造改革を実行してまいりました。また、2024 年 4 月に株式会社ジーニーとの資本業務提携を行い、経営資源をデジタル PR 事業に集中するとともに、2025 年 9 月に株式会社 iHack、2026 年 5 月に株式会社 SEIRYO を子会社化し、成長領域であるインフルエンサーPR 領域の強化を進めております。

これらの取り組みの結果、2026 年 3 月期の連結業績は、売上高 3,513 百万円（前期比 20.9%増）、営業利益 227 百万円（同 65.9%増）となり、自己資本比率も 51.2%と改善するなど、当社グループの事業ポートフォリオ、収益構造および財務体質は大きく変化し、安定的な事業基盤と利益基盤を有する企業へと転換いたしました。

また、こうした財務体質の改善を踏まえ、株主優待制度を再開したほか、残存している利益剰余金のマイナスについても解消が見込まれることから、成長投資と株主還元を併行して実施していける財務基

盤が整いつつあると考えております。

当社は、こうした現在の事業実態が、高い成長可能性の実現を企図する企業を主たる対象とするグローバル市場よりも、一定の時価総額（流動性）を持ち、安定的かつ持続的な成長と適切なガバナンス水準を備えた企業を対象とするスタンダード市場のコンセプトに、より適合しているものと考えております。

加えて、スタンダード市場へ移行することにより、顧客企業、取引先金融機関および人材採用市場等に対する信用力・信頼性の一層の向上が期待でき、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するものと考えております。

2. 現在の状況

当社は、東京証券取引所に対してスタンダード市場への市場区分の変更申請をし、審査への対応をはじめ、市場区分の変更の承認に向けた対応を開始いたしました。

なお、承認の可否および市場区分の変更日は、東京証券取引所における審査の結果によるため、現時点では未定であります。また、審査の結果によっては、市場区分の変更が承認されない可能性があります。

3. 今後の見通し

市場区分の変更について東京証券取引所の承認が得られた場合など、今後、本件に関して開示すべき事項が発生した場合には、速やかに公表いたします。

4. 今後の方針

当社は、引き続き市場区分の変更の承認に向けた準備に取り組むとともに、株主および投資家の皆様のご期待に応えるべく、IR 活動の一層の充実を図り、当社事業および成長戦略に対するご理解を深めていただけるよう努めてまいります。また、成長投資とのバランスを図りつつ、配当を含む株主還元の充実についても検討を進めてまいります。株主および投資家の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以 上